新月灯花☽新聞

第四号
発行日：７月６日
不定期発行
責任編集：新月灯花

新月灯花（ロック&アコースティックバンド）

震災があった翌月から毎月福島に行ってます。とにかくこの非常事態を肌で感じたかった。ちゃんと向き合いたかった。それまで無関心だった自分のそれがせめてもの償いだった。

山岸佑季子

田中美知子

山崎優子

中野裕子

2012年6月27日。福島原発一号機で、1万3百ミリシーベルトという異常に高い放射線量が測定されました。それどころか2号機では**7万2千9百ミリシーベルト**を越す場所があります。（7千ミリシーベルトで即死レベル。どれだけ凄い放射線量なんだ！）**1535本の核燃料棒**が保管されている4号機の貯蔵プールはビニールシートが被されているまま。東電は「震度6強でも大丈夫」と言っている。ってことは、今回の地震のように震度7クラスだとダメってこと？

震災から16ヶ月。これが今現在の福島原発での事実です。何も収束していない現状。これが福島のリアルです。

2011年4月10日。原発に出来るだけ近い避難所に行くことにした。それはボランティア精神とかでは全然なく『私たちが子供たち（未来の子供たち）に対する加害者なのは揺ぎ無い事実だ』という想いからだった。

何をすればいいか分からない。何が出来るかも分からない。とにかく現場の子供たちと接したかった。

あれから一年が経ち、何人かの子供たちと仲良くなって、行くたびに会うようにもなった。嬉しいことに、ライブにも来てくれるしプレゼントまで貰った。

国が行った検査で、この子たちが**被曝している**ことが分かった。**直ちに健康に影響は無い数値**らしいが、私はすごく辛く、すごく悲しく、すごく悔しかった。

現場には、東京にいてネットやテレビの情報だけでは伝わって来ないものがある。反原発デモも出来るだけ参加した。原発立地予定地山口県上関も行って話を聞いてみた。やらせ問題になっている玄海原発も泊原発も行った。浜岡原発も福井の原発群も行ってみた。だからと言って、何か分かった訳ではないし、何かが見つかった訳ではない。でも、福島で仲良くなったあの子たちの身に何かあったら、すごく悲しいというリアルな感情は得た。自分の無力さを痛感した。

いまだに何をすればいいか分からないが、この子たちと少なくとも30年は向き合おうという覚悟だけは出来た。

新月灯花の繋いでみたいのコーナー

原発事故以来、本当にたくさんの人と出会いました。自分達で直接声を聞く重要さに改めて気が付きました。今まで私が、いかにいいかげんなコミュニケーションをしてきたかを思い知らされた一年と四ヶ月でした。ここに載っているのは、全て直接自分達で聞いた声です。出会ったすべての人に感謝！（新月灯花　山岸佑季子）

庄野真代さん（歌手）

「飛んでイスタンブール」「モンテカルロで乾杯」など数々のヒット曲をリリース。現在はNPO法人「国境なき楽団」の理事を務め、チャリティーコンサートにも積極的に参加している。
http://park16.wakwak.com/~mayo/

世の中には『本当の声』が届かない事って凄く多いですね。

『本当の声』っていうのは、もしかしたら小さい声かもしれないけど、その『小さい声』が聞こえる所にいる人が、同じように小さい声を出したら、『大きな声』になって、遠くまで届いて行くんじゃないかなぁって思っています。

マコトさん（衰退羞恥心）

福島で知り合ったミュージシャン。農業をやりながら音楽活動中。
http://jp.tosp.co.jp/i.asp?i=suitaimania

風評被害、実害、などありますが福島は生きてます。**ありがちな頑張ろうや、負けないとかの類のスローガンには反吐が出る感もありますが福島で生きていきます！**ってそんな内容の歌は一曲もないのですが。

秋吉久美子さん（女優）

女優。6歳から18歳までいわき市で育った。数々の主演女優賞を受賞している。
http://akiyoshikumiko.jp/

原発問題は人類の問題だと思っています。伝えるまでもなく、今の福島を見ればもう誰もがわかりきっているはず。**子供達のことを考えて！それだけ！**

鈴木薫さん（いわきアクション　ママの会）

福島県在住。「いわきアクション！ママの会」を立ち上げ、子供達を放射能から守るというテーマで活動中。いわき放射能市民測定室『たらちね』も開いている。
http://www.iwakisokuteishitu.com/

福島県は原発事故があって、放射性物質が沢山舞い散っていて、今みんなとても苦労しています。**子供達を放射能から守ることが最大のテーマです。**

清水敏保さん（祝島　島民の会代表）

祝島は瀬戸内海に浮かぶ、住民約500人の自然豊かな小さな島です。祝島の対岸4キロに上関原発建設計画が持ち上がって以来、島の住人は現在までの30年間、建設反対を唱え阻止してきました。
祝島島民の会ブログ
http://blog.shimabito.net/

私も福島の事が気になって昨年5月に行ったんですがあの時は本当に悲惨で・・・。今も変わってない所もあるかと思いますし、本当に大変でしょうけど、被災地の原発開発計画もあの事故以来止まっています。

私達も再び原発が作られない様に、**二度と福島での事故の様な事が起こらない様に、原発建設計画に反対しています。**

福島が一日も早く復興できるよう応援したいと思っています。頑張って下さい！

三ケ田圭三さん（いわきSONIC　店長）

福島県いわき市のライブハウスSONICの店長。ローファイパンクフォークバンド、「あぶらすまし」で活動中。
http://jp.tosp.co.jp/i.asp?i=abrsms

いわき市での放射能問題についての個人個人の考え。日々ライブハウスを営業している中で会話として聞く事ができます。私が知る情報で最も確かなものです。そして、いわきに訪れる人たちが一番知りたがっている事なのでした。

ライブハウスでは日々、ほかの土地で暮らす人といわきで暮らす人が会話し、必ずと言っていいほど次の何かが生まれています。もちろん答えは見つからないのですが。

これからの福島の問題を考える時、明るい見通しが見つからない今、私が唯一頼れるのはこの目の前で交わされている会話です。可能な限りいろいろな人と話し、確かな考えを手に入れなくてはいけません。

私は世間知らずです。是非、いろいろ教えて頂きたいです。私も知っていることを話します。できれば目の前で話をしたいです。なぜか直接話さないと言葉は響いてきません。

新月灯花はいきなりやってきて、会話からスタートしました。その会話は毎月いわきで続いています。最も正しいスタートから発生した関係は強靭でした。彼女達は関西にも行きます。もちろん直接話をする為でしょう。

このイベントが確かな行動の上に成り立っているという事、原発問題に焦点を定めている事。とてもハッキリしていて、とても信頼できる事です。

福島でカシャッ！のコーナー

庄野さんは、音楽が人と人とを結ぶ接着剤になればと言っていましたが、まさにその通りだと痛感しています。

三ヶ田さんは、唯一頼れるのは目の前で交わされる会話だと言ってました。ほんとその通り！共感します！

仲良くなったナナサ、レイちゃん達と避難先のかんぽの宿のゲーセンにて。また遊ぼうね！

いわき駅前で路上ライブをやって知り合った女子高生だよ！またやるから見に来てね～